

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646

夏の夜空を彩る花火大会

市内で最初の花火大会、丸山神社祇園祭花火大会（上野祇園祭花火奉賛会主催）が7月16日に行われました。

神社周辺にはいろいろな露天が並び、夏祭りの雰囲気を盛り上げました。空が暗くなりだすと、神社には家族連れや浴衣姿の人などたくさんの方が押し寄せ、最初の花火が打ち上げられると大きな歓声が沸きあがりました。約1時間、夏の夜空に浮かぶ色鮮やかな花火を見上げていると、暑さも忘れ、心地よい気分になりました。



妖怪屋敷 1周年を祝う

妖怪屋敷、石の博物館などで多くの人を惹きつけている道の駅大歩危で、リニューアルオープンから丸1周年を迎えて記念イベントが開催されました。

7月30日には、前夜祭としてナイトミュージアムが開催され、約40人の参加者が語り部の案内のもと夜の妖怪屋敷を楽しみました。31日の妖怪パレードではこなき爺やのびあがりなど16体の着ぐるみが登場し、子ども達と触れ合いました。また、妖怪伝説にまつわる紙芝居や妖怪音頭が披露され、妖怪屋敷の魅力が凝縮された一日になりました。

暑さ忘れる井川納涼祭



毎年恒例となっている井川納涼祭が7月24日に辻小学校で開催され、夕暮れ時になると涼を求めて多くの市民が集まりました。会場では出店が立ち並び、揚げたこ焼きの早食い大会、阿波踊りや映画上映会などが行われました。あつあつのたこ焼きを口いっぱいにはおぼり一生懸命食べる参加者やなでしこ連による情緒あふれる踊り、大型スクリーンによる映画上映。見ている人たちは夏の暑さを忘れ思い思いの祭りを楽しんでいました。また来年が楽しみです。

オオムラサキを見つけたよ



池田町の西山幼稚園で、日本の国蝶のオオムラサキが見つかりました。大きな羽を広げると紫色に白い斑点がある美しい蝶で、7月8日に幼稚園の裏庭で教諭が発見しました。園の飼育ケースで世話をしながら、2人の園児たちと絵を描いたり、一緒に写真を撮ったりしました。12日に裏庭に放すと、蝶はぱっと飛び去っていきました。3月に休園することになっている西山幼稚園。オオムラサキとの出会いは園児たちのいい思い出となったことでしょう。

移転後 10万人を突破



昨年4月1日に移転オープンした三好市中央図書館の来館者数が7月4日、当初目標の年間5万人を大幅に上回り、10万人を突破しました。この日、10万人目となった高松市の会社員清水直樹さんには花束と記念品が贈られました。今後も利用者の声を大切にし、様々な催しを企画することなどにより、身近で魅力ある図書館の充実を図っていこうと取り組んでいる三好市中央図書館。夏休みや読書の秋に向けて、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

ふるさとの宝 神代踊を奉納

毎年旧暦の6月25日、西祖谷山村の天満神社で奉納される国指定重要無形民俗文化財の神代踊。その起源は、学問の神様として知られる菅原道真が讃岐守在任中に干ばつに苦しむ農民のために行った雨乞い祈願だと伝えられています。今年は7月25日に行われ、神社の境内では太鼓や鉦の音が鳴り響く中、あでやかで勇壮な踊りを地元保存会の会員らが披露し、訪れた写真愛好家や見物客が古式ゆかしい踊りを見守りました。奉納が終わると見物客らも一緒に踊りを楽しみ、いにしえより伝わる伝統文化を体験しました。



犬の助役さんが観光客をお出迎え

JR大歩危駅に犬の助役が就任し、7月9日に同駅で戴帽式が行われました。就任したのは、地元の住民団体「JR大歩危駅活性化協議会」のメンバーで、近くに住む藤川弘士さんが飼っている柴犬の「虎太郎」です。今後は、毎週日曜に出勤し、4月に就任した木彫りの「こなきじじい」駅長とともに観光客を出迎えます。この日は、市出身で音楽愛好家中道悦子さんによるご当地ソングの初披露や、子どもみこしが練り歩き交通安全の呼びかけもありました。



TVの舞台裏を披露

7月18日、三好市医師会准看護学院創立50周年を記念し、食と健康をテーマにした長寿番組「ためしてガッテン」の小野文恵アナウンサーを迎え、池田総合体育館で講演会が開催されました。講演では参加者に向けて番組の舞台裏や筋力年齢測定、食と健康クイズなどを面白おかしく紹介しながら番組作りの掟を披露されました。最後にテレビの舞台裏を知ってもらい、より厳しいまなざしをテレビ番組に向けてほしいと話されました。

